

ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立青森第一高等養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他()		
	単元(題材)名	現地集合で!		
	単元(題材)の目標	公共交通機関を使って移動するときの割引の計算や移動時間の計算ができる		
学習集団と実態	学部・学年・人数	高等	部	全学年(学年ごと) 年 2~4 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 ・携帯型情報端末に苦手意識はない。 ・ノートテイクに時間を要する。 ・その都度確認しながら進めたい生徒が多い。 ・自信のなさから質問ができずにいる。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器(入出力支援装置等)名を記入する。 iPad、AppleTV、プロジェクター		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 クラスルーム	アプリマーク 	
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援(<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input checked="" type="checkbox"/> 機器操作支援 <input checked="" type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	・生徒が躓いている箇所を確認しながら進める。 ・質問できない生徒の学習状況を把握し、適宜支援する。 ・生徒の画面を共有し、発表やアドバイスをスムーズに行う。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ノートテイクやプリントの整理に時間がかかる生徒の負担軽減のため、iPad の Google Classroom でプリントの配布、回収を行いながら授業を進めている。机間巡視しながら進めているが、それぞれの生徒の端末の画面を確認することに時間を要したり、画面が小さく状況の確認がしづらかった。また、全体の進捗状況も把握しづらかった。そこで、クラスルームを活用して、教員の端末から進捗状況を確認することとした。繰り返し確認してしまう生徒や躓いていてもなかなか自分から聞けない生徒の状況をリアルタイムで確認できるため、適宜アドバイスやできていることを伝えることで、自信をもって進める様子が見られた。また、ホワイトボード(電子黒板)に生徒の画面を映すことが容易にできるため、教員の画面、生徒の画面と切り替えながら全体に提示ができ、発表の活動もスムーズに行うことができた。			